

## IBM WebSphere Application Server Hypervisor Edition



### ハイライト

- VMware ESX または ESXi  
サーバー仮想化環境で即時に稼働するよう事前構成された IBM WebSphere® Application Server V7.0 および V6.1 の特別なエディションです
- Open Virtualization Format (OVF) 規格をサポートします
- 仮想イメージ (オペレーティング・システムを含む) は IBM によってサポートおよび保守されます
- **WebSphere CloudBurst** アプリアランスにプリロード済みで、プライベート・クラウドへの SOA アプリケーションおよびサービスの容易な展開および管理が可能です
- オープン・スタンダード・ベースのプログラミング・モデル (Web 2.0、SIP、SCA、SDO、JPA) を包括的に提供しているため、幅広い開発者スキルを十分に活用できます
- 既存のパッケージ・アプリケーションとレガシー・アプリケーションのサービスへの対応、新規サービスの作成、およびビジネス・アプリケーションの Web への拡張を可能にすることにより、投資を保護します
- EJB™ および Web サービスのパフォーマンス強化機能を使用して最大 30% のワークロードを統合することにより、少ない台数のサーバーで同じ数のワークロードを実行します
- 先進的なクラスタリング、データ複製サービス、および独自の負荷分散によって、あらゆるサイズのワークロードについて、低速なアプリケーション応答またはスケーラビリティの欠如に伴うコストを削減します
- ランタイム・プロビジョニングによってフットプリントが減少するため、エネルギー使用量を削減できます
- きめ細かく柔軟な制御を提供するセキュリティー・ドメインによって、コストのかかるセキュリティー・ブリーチのリスクを防止します
- 既存の Java アプリケーションを再プログラミングせず、独自の後方互換性機能および統合されたツールによって、開発時間を大幅に短縮します
- セントラル・サイトからのロケーションの表示およびモニターなどの集中型管理機能によって、物理的に分散されたインフラストラクチャーを個別に管理するのにかかるコストを削減します

今日の動的なビジネス環境と不安定な経済状況では、企業が競争力を維持し、変化し続けるお客様の要求に対応するためには、スマートにビジネスを進める必要があります。よりスマートにビジネスを進めるための秘訣は、俊敏性とコストの最適化です。ビジネス上重要な全社規模の主要アプリケーションから、緊急性が高く、ビジネス戦略上の問題の解決に役立つ、対象を絞った部門レベルのアプリケーションまで、ソフトウェア・アプリケーションはすべての企業の中核を成します。

ビジネスで成功を収められるレベルでこれらのアプリケーションが確実に機能し、従業員、お客様、およびパートナーを満足させ、市況に適応するための柔軟性を実現するには、ソフトウェア・アプリケーションに適切な基盤が必要です。この基盤とは、SMART SOA™ に基づき、ビジネス目標を達成しながら、メインフレームと分散アプリケーションにわたってコストを削減できるものです。お客様のやりとりを促進するためにアプリケーションを最新のものにする場合でも、動的な機会を利用するために素早く情報を得る場合でも、新しい機能を迅速に導入する場合でも、SMART SOA アプリケーションの基盤によって今後の変化に対応する準備を整えられます。同時にコストを常に制御することができます。

**IBM WebSphere Application Server** ファミリーは、開発者および IT アーキテクトに、堅固かつ俊敏で再利用可能なサービスとあらゆるタイプの SOA アプリケーションを構築、展開、および管理するための革新的なパフォーマンス・ベースのアプリケーション基盤を提供します。また、

このアプリケーション・インフラストラクチャーをインテリジェントかつプロアクティブに管理すると同時に、コストを最適化します。

**WebSphere Application Server Hypervisor Edition** は、革新的な基盤、高性能、シンプルな開発、およびインテリジェントな管理といった **WebSphere Application Server** ファミリーのすべての堅固な特長を備えています。さらに、**WebSphere Application Server Hypervisor Edition** は、カスタマイズせずにサーバー仮想化環境で稼働するように最適化されているため、管理および保守にかかるコストを削減して、構築時間を短縮します。

### 革新的な基盤

**WebSphere Application Server Hypervisor Edition** は、オープン・スタンダード・ベースのプログラミング・モデル (**Web 2.0**、**Session Initiation Protocol (SIP)**)、**Service Component Architecture (SCA)**、サービス・データ・オブジェクト (**SDO**)、および **Java™ Persistence API (JPA)**) を包括的に提供します。そのため、お客様およびパートナーの要求を満たす革新的な新しいアプリケーションを配信でき、世界のどこにでも誰にでもサービスを拡張でき、組織がすぐに情報を得てお客様、ビジネス・パートナー、および供給業者と対話できるようになります。

**WebSphere Application Server Hypervisor Edition** は、革新的な仮想アプライアンス・モデルを土台に構築されています。仮想アプライアンスは、仮想化プラットフォーム (**VMware ESXi**、**Citrix Xen** など) で実行されるように設計された**仮想マシン**・イメージです。仮想アプライアンスは、複雑なソフトウェア・スタックの実行に伴うインストール、構成、および保守のコストをなくすことを目的としています。仮想アプライアンスは、仮想マシンではなく、仮想マシン内部で実行されるように設計されたソフトウェア・スタックを含むソフトウェア・イメージです。仮想アプライアンスは、サーバー仮想化環境およびクラウド・コンピューティング環境にアプリケーションを迅速に展開するための新しい方法です。

コア・オペレーティング・システムは、**WebSphere** チューニングのベスト・プラクティスに従って、**WebSphere Application Server** 用に最適化され、独自の高価値なランタイム環境を実現します。初回の起動時に、**WebSphere Application Server** とその環境は自動的に構成され、**WebSphere** のベスト・プラクティスに従ってチューニングされます。**WebSphere Application Server Hypervisor Edition** は、**Open Virtualization Format (OVF)** 対応パッケージとしてパッケージ化されているので、**VMware ESX** または **ESXi** 等のサーバー仮想化環境に迅速に導入できます。

WebSphere Application Server Hypervisor Edition は、WebSphere Application Server ファミリーの特長を受け継ぎ、柔軟に変化するお客様の環境に対応できるように構築されています。単一の仮想イメージであるため、アプリケーションの基盤トポロジを迅速に展開でき、新しい構成インターフェースを使用して次のプロファイルとして作成できます。

- デプロイメント・マネージャー
- クラスタ・メンバー
- スタンドアロン・サーバー
- ジョブ・マネージャー
- 管理エージェント
- *IHS*

この仮想イメージでは、お客様の必要に応じて、フィーチャー・パックをシステム起動時に構成することもできます。必要なものだけを選択できるモデルであるため、お客様の環境でフィーチャー・パックを簡単に素早くテストできます。WebSphere Application Server Hypervisor Edition は、クラウド内の WebSphere 環境の保守も容易にします。IBM は、中核となる Novell SUSE Linux® Enterprise オペレーティング・システムを含めて、フィックス・パックごとに完全な Open Virtualization Format (OVF) 対応イメージを保守および更新します。

## 高性能

WebSphere Application Server Hypervisor Edition は、お客様のビジネスでより少ない資源によって多くの成果を上げることができるように、開発と適用の効率を高める安全性、拡張性、および信頼性に優れた高速な環境を提供します。旧バージョンの業界トップのパフォーマンスを土台に構築された WebSphere Application Server Hypervisor Edition V7 は、ワークロード統合を通してデータ・センターの効率を高めることにより、パフォーマンスをさらに高めます。

パフォーマンス強化機能により、より少ない IT リソースで同じ数またはより多くの数のビジネス・サービスのサポートが可能となります。これらの機能を使用して既存のワークロードを最大 30% 統合することができるため、コストを節約してリソースを解放することができます。ランタイム・プロビジョニングによってフットプリントが減少するため、アプリケーションの基盤に関連するエネルギー使用量を削減できます。

セキュリティの機能拡張により、コストのかかるセキュリティ・ブリーチを回避できる能力が強化されます。すぐに使用可能なセキュリティ構成とユーザー・レジストリー、政府標準への準拠、および厳しい Web サービス・セキュリティによって安心感を得られます。

新しいセキュリティー機能は、さらに深いレベルの管理、ユーザー・ガバナンス、および監査を付加して、システムのぜい弱性を軽減すると同時に開発者の生産性を最大限に高めます。これらの機能の利点は次のとおりです。

- *WebSphere Security Domains* は、*細分性、柔軟性、およびユーザーとインフラストラクチャーに対する制御を提供して、管理効率を高めます。*
- *セキュリティー監査機能により、セキュリティー準拠が確保され、開発が簡単になります。*
- 幅広い *Kerberos* の実装により、他のアプリケーションおよび環境とのセキュリティー相互運用性が改善されると同時に、開発者の生産性が高まります。

## シンプルな開発

開発者に焦点を当てた機能により、開発環境が単純化され、開発者の生産性が向上します。WebSphere Application Server Hypervisor Edition V7 は、標準、新しいテクノロジー、および選り抜きの開発フレームワークに対する拡張されたサポートを提供して、プログラミング・モデルを単純化し、開発者の生産性を高めます。また、既存の Java アプリケーションを再コード化せず、すむ統合ツールおよび独自の後方互換性機能によって、開発時間を大幅に短縮します。

## インテリジェントな管理

### WebSphere Application Server

Hypervisor Edition V7 は、シンプルなインフラストラクチャー、柔軟かつ効果的なアプリケーション制御およびランタイムの効率を提供するため、お客様はインフラストラクチャーおよびアプリケーションの情報を使用して変化するビジネス・ニーズに対応できます。新しい V7 のインテリジェントな管理機能は次のとおりです。

- ランタイム・プロビジョニングおよび *Open Service Gateway initiative (OSGi)* テクノロジーは、メモリおよびスペースに必要な機能のみを動的に選択して、アプリケーション・サーバー・フットプリントを減らします。

- 柔軟な管理機能により、管理の効率が向上して、*WebSphere Application Server Base* および *WebSphere Application Server-Express* のリモートからの実働リソース管理が可能になります。
- 新しい管理ツールにより、きめ細かいセキュリティ管理レベルが実現し、最も深いレベルのセキュリティまで注意できるようになります。
- 新しい *WebSphere business level applications (WBLA)* は、「アプリケーション」の概念を *Java EE 5* を超えて拡大し、マルチコンポーネント・アプリケーションの管理を大幅に改善して、管理作業を単純化します。

- 改善されたコンソール・コマンド・アシスタント、簡単になったセキュリティ構成およびデータベース接続、ウィザード、および管理用のスタンドアロン・シンクライアントによって、効率が大幅に向上します。

### WebSphere Application Server

Hypervisor Edition は、よりスマートなビジネス上の成果を上げるために SOA アプリケーション、サービス、および環境をインテリジェントに展開および管理する、強力かつ包括的なクラウド・コンピューティングおよび仮想化ソリューション・セットの一部です。これらのソリューションは、アプリケーションを変化する市況に適応させると同時にコストを削減するための頑強性と俊敏性をもたらします。

## WebSphere Application Server Hypervisor Edition

機能	特長
Novell SUSE Linux エンタープライズ・オペレーティング・システムを含む、事前構成された統合仮想イメージ	<ul style="list-style-type: none"><li>• WebSphere Application Server をインストールする必要はありません</li><li>• オペレーティング・システムを注文およびインストールする必要はありません</li><li>• IBM によって保守およびサポートされます</li></ul>
Open Virtualization Format (OVF) 規格のサポート	<ul style="list-style-type: none"><li>• ハイパーバイザーで即時に稼働します</li></ul>
VMware ESX、ESXi のサポート	<ul style="list-style-type: none"><li>• 業界標準 x86 サーバー用の主要ハイパーバイザーを活用します</li></ul>
WebSphere Application Server の V7 および V6.1 バージョンのサポート	<ul style="list-style-type: none"><li>• 自由に選択できます</li></ul>

## WebSphere Application Server ファミリー

機能	特長
以下を含む完全な Java EE 5 サポートおよび Enterprise Java Beans 3.0:	Java プログラミング・モデルおよび標準のすべての利点を活用します
<ul style="list-style-type: none"><li>• Java SE バージョン 5 および 6</li><li>• Java Persistence API (JPA)</li><li>• Session Initiation Protocol</li><li>• JAX-WS 2.1</li><li>• JAXB 2.1</li><li>• StAX 1.0</li><li>• JSR 109 1.2</li></ul>	
SOAP 1.2 をサポートする機能拡張のための Portlet specification 2.0、Java Specification Request SAAJ 1.3	
IBM Rational® Application Developer アセンブリーとの統合、および Eclipse を土台に構築された WebSphere ソフトウェア用のモジュールの展開	最善の組み合わせの Rational ソフトウェア開発ツールとシームレスに統合します
Rational Application Developer for WebSphere Software (別料金) の体験版の組み込み Rational Application Developer の Rational Software Architect for WebSphere との統合 「アプリケーション」の概念を Java EE 5 を超えて拡張する WebSphere ビジネス・レベル・アプリケーション	
迅速な Java 開発および展開キット (JDK™) 6.0、Java Platform, Standard Edition 6 (Java SE 6.0)	Java プログラミング・モデルおよび標準のすべての利点を活用します
<ul style="list-style-type: none"><li>• Web 2.0 から SOA への接続、Web サービス・サポート:</li><li>• OASIS WS-Reliable Messaging</li><li>• OASIS WS-Secure Conversion</li><li>• OASIS WS-Trust</li><li>• OASIS WS-Transaction</li><li>• OASIS WS-Security Policy</li><li>• OASIS Kerberos Token Profile</li><li>• W3C WS-Policy</li><li>• W3C WS-Addressing Metadata</li><li>• W3C SOAP 1.2</li><li>• W3C MTOM および XOP</li><li>• WS-Metadata Exchange</li><li>• Microsoft® などのベンダーとの相互運用性</li></ul>	最新の Web 2.0 および Web サービス標準を活用します
AJAX 開発キット、メッセージング	対話式 Web アプリケーションを容易に作成します
WebSphere Application Server フィーチャー・パック	最新の機能および機能拡張によって常に最新状態を維持します
大規模なトランザクションのサポート	要求の増大に合わせて簡単に拡張できます

## WebSphere Application Server ファミリー

機能	特長
ランタイム・プロビジョニング・サービス	必要な機能のみを動的に選択して、アプリケーション・サーバー・フットプリントを大幅に減少させ、始動時間を短縮します
柔軟な管理	地理的に分散されたサイトの制御を強化します
高度なセキュリティー:	リスクを削減します
<ul style="list-style-type: none"><li>• WebSphere Secure Proxy</li><li>• WebSphere Security Domains</li><li>• 新しいセキュリティー監査</li><li>• Kerberos 認証およびシングル・サインオン</li><li>• Common Criteria 保証レベル 4 の認定</li></ul>	
動的キャッシング	応答時間が高速です
シンプルなフェイルオーバー	アプリケーションの高可用性を確保します
新しい管理エージェント	管理オーバーヘッドを削減します
先進的なクラスタリング:	<ul style="list-style-type: none"><li>• パフォーマンスを向上させます</li><li>• 要求の増大に合わせて簡単に拡張できます</li></ul>
ネットワークの Edge サービスなどの拡張されたパフォーマンス機能	パフォーマンスを向上させます
IBM HTTP Server for WebSphere (Apache で稼働)	統合 Web サーバー
マイグレーション・アシスタンス、資料、およびツール	別のアプリケーション・サーバーから簡単に WebSphere テクノロジーに移行できます
JEE 互換性に基づく、任意の WebSphere Application Server 構成からのアップグレード・パス	旧バージョンから簡単にアップグレードできます
24x7 体制の製品サポート	<ul style="list-style-type: none"><li>• 最新の機能および機能拡張によって常に最新状態を維持します</li><li>• 発生する可能性があるすべての問題に対応するために技術サポートを受け取ることができます</li></ul>

### 詳細情報

IBM WebSphere Application Server Hypervisor Edition の詳細については、IBM 担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。

[ibm.com/software/jp/websphere/appransaction/hypervisor/](http://ibm.com/software/jp/websphere/appransaction/hypervisor/)



© Copyright IBM Corporation 2009

IBM Corporation  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒106-8711  
東京都港区六本木 3-2-12

Produced in Japan  
2009 年 8 月  
All Rights Reserved

当資料に記載の肩書きや数値、固有名詞等は英語版掲載時のものであり、変更されている可能性があります。

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、WebSphere および CloudBurst は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。

他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

他の製品名およびサービス名等はそれぞれ IBM または各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標については、[ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://ibm.com/legal/copytrade.shtml) をご覧ください。

